

2021/12/17

目次

1	バージョンの確認	2
2	バージョンアップ作業	3
2.1	親機のバージョンアップ	3
2.2	子機のバージョンアップ	5
3	バージョンアップ後の確認	7
4	添付書類の閲覧・印刷	7

※連携ツールがインストールされているパソコンすべてで行ってください。

今回のバージョンアップは、データベースのバージョンアップが必要ですので、親機(コスモスの親機)でも必ずバージョンアップを行ってください。(親機に連携ツールが入っていない場合も必ず行ってください。)

- 1 バージョンの確認
 - データ連携ツールを起動します。画面左下にある「バージョン情報」を確認します。



2 バージョンアップ作業

2.1 親機のバージョンアップ

※親機で作業を行ってください。(親機に連携ツールが入っていない場合も必ず行ってください。)

- ① ホームページからダウンロードしたファイルを解凍します。
 - 「QOCORO 連携ツール【訪問看護】 Ver1.4.0.0 (コスモス) .exe」 をダブルクリックします。



- QOCORO 連携ツール画面は閉じましたか?」の確認メッセージが表示されます。
 QOCORO 連携ツールが起動している場合は、閉じて、「はい」をクリックします。
- ③ 「展開先の指定」画面が表示されますので、「OK」をクリックします。



④ 展開が終わると、③の画面が自動的に閉じられ、

ユーザーアカウント制御の画面(このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか?) が表示されますので、「はい」をクリックします。



⑤ 「コスモス×QOCORO 連携ツール バージョンアップ」画面が表示されますので、



→次ページへ続く

⑥ 確認メッセージが表示されますので、「はい」をクリックします。



⑦ 完了メッセージが表示されますので、「OK」をクリックします。



⑧ 「終了」をクリックします。



2.2 子機のバージョンアップ

※連携ツールがインストールされているパソコンすべてで作業を行ってください。 連携ツールが親機のみインストールされている場合で、手順2.1の親機のバージョンアップ がお済みの場合は、この作業は不要です。

① ホームページからダウンロードしたファイルを解凍します。

「QOCORO連携ツール【訪問看護】Ver1.4.0.0(コスモス).exe」をダブルクリックします。



- QOCORO 連携ツール画面は閉じましたか?」の確認メッセージが表示されます。
 QOCORO 連携ツールが起動している場合は、閉じて、「はい」をクリックします。
- ③ 「展開先の指定」画面が表示されますので、「OK」をクリックします。

展開先の指定	– 🗆 X	
展開先のフォルダを指定してください(E): C:¥Users¥〇〇〇〇¥Desktop □ 書庫名でフォルダを作成(K)	クリックします。	※基本的には、デスクトップに 保存をお願いします。

- ④ 展開が終わると、③の画面が自動的に閉じられ、
 ユーザーアカウント制御の画面(このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか?)
 が表示されますので、「はい」をクリックします。
- 「コスモス×QOCORO 連携ツール バージョンアップ」画面が表示されますので、
 「バージョンアップ」をクリックします。



⑥ 確認メッセージが表示されますので、「はい」をクリックします。





⑧ 以下のメッセージが表示されますので、「OK」をクリックします。
 ※このメッセージは、親機のバージョンアップを行っていても表示されます。



⑨ 「終了」をクリックします。



 ・連携ツールがインストールされているパソコンすべてで①~⑨を行ってください。
 すべてのパソコンでバージョンアップが終わるまでは、連携ツールを起動しないでください。

3 バージョンアップ後の確認

データ連携ツールを起動します。画面左下にあるバージョン情報が「1.4.0.0」になっている ことを確認します。

※連携ツールが入っているパソコンすべてで確認してください。



4 添付書類の閲覧・印刷

添付書類がパソコン内に保存されています。 デスクトップにある「コスモス添付書類」を開き 「Ver1.4.0.0 QOCORO 連携ツール(211216)」のフォルダにある 「【QOCORO 連携ツール】対応内容.pdf」を確認してください。 ※連携ツールが入っているパソコンで確認ができます。



以上で作業は終了です。